



〒216-0003
川崎市宮前区有馬6-6-1 五十嵐ハイツ102号
TEL & FAX: 044-856-5456
E-mail: oda@odakatau.com
URL http://odakatsu.com/

川崎市の下水道管の破損は大丈夫か？

～3月18日に国から追加の緊急調査依頼あり～



川崎市議会 議員(宮前区)
おだ かつひさ

マンホール約500か所を開けて、上下水道局の職員が目視を中心に確認を行っています。2月10日の週には点検結果の精査が終了の予定です。

川崎市は、上下水道事業を単独でおこなってきた歴史もあり、優れた技術力を維持していると仄聞しています。さらには、上下水道の耐震化にも積極的で、重要な管路(上水)の耐震化率は100%、下水管

きょについては、「重要な管きょ」は89.7% (令和7年度末見込み)となっています。

路面下空洞調査については、建設緑政局が所管し、市内の災害時などに優先的に通行を確保する「緊急輸送路」約210キロメートルを対象に「スケルカ」という特殊車両を年間30から40キロメートル走行させ調査、6年間で一巡するスケジュールとなっています。

国からの追加調査依頼の結果が出るのが重点箇所(600m)が夏、それ以外(合計50km)が年度末とされています。

本市で実施している下水道管路の点検について

・はじめに、現在本市で実施している巡視、点検には次のような種類があります

- ① 点検(法定)：【5年に1回実施。腐食環境箇所を対象】(宮前区内7ヶ所)
マンホールのふたを開け、マンホールから目視可能な範囲の管内状況、堆積物の有無、及び流下状況を確認。
- ② 点検(法定以外、雨水枝線等)：【5年に1回実施。合流・雨水(枝線管きょ)全てを対象】
点検(法定)と同じ点検方法
- ③ 点検(法定以外、幹線および汚水枝線等)：【10年に1回実施。幹線・汚水枝線管きょ全てを対象】
点検(法定)と同じ点検方法
- ④ 巡視：【2年に1回実施、全管きょを対象】
管路施設が埋設された地表面の状況やマンホールふたの状況を目視により確認。

腐食環境箇所とは

下水のマンホールなどで、下水がぶつかり、攪拌されるなどで硫化水素の発生が想定される箇所。硫化水素により下水管のコンクリートや鉄骨が腐食しやすい環境となる。
全市内マンホール144か所、マンホールに接続する管きょ66路線(総延長は約3246メートル)

点検頻度の根拠について

①腐食環境箇所の点検頻度「1回/5年」については、法令で定められたものです。その内容については、下水道法、下水道法施行令、下水道法施行規則の条文に示されています。

施設別の標準点検頻度			
施設名	点検種別	点検頻度	点検者
管きょ(本管)	全て	合流・雨水(枝線) 1回/5年	民間(面的) 市職員(線・点的)
		合流・雨水(幹線) 1回/10年	
		汚水(幹線・枝線) 1回/10年	
閉塞危険路線等	定期	対象施設ごとで設定	市職員
① 腐食環境箇所	法定	1回/5年	市職員
貯留施設、共同溝等	臨時	随時(管理実績、大雨前後、地震時)	市職員

※表中の①などの番号については、上段で示した分類番号です

埼玉県の下水管の破損による道路の陥没事故をうけて、国は、1月29日に県や政令指定都市に対して、「広域で管理され、大規模な下水処理場に接続する下水道管(複数の自治体にまたがる流域下水道)を緊急に点検するように」要請を行いました。

川崎市の場合は、市内で単独で行っている「公共下水道」しかないで、国からの要請の対象外となります。ただし、市内にも幹線道路の下などに計約38キロメートルにわたり、内径2メートル以上の下水管が施設されていることから、1月31日から自主的に「緊急点検」をはじめ、2月20日に異常なしとの報告を受けました。



おだ かつひさ(織田 勝久) プロフィール

- ◆1961年、川崎市幸区生まれ。駒場東邦高校、中央大学 法学部卒業(地方自治、都市政策専攻)
- ◆国会議員秘書を経て、2003年川崎市議会議員初当選。
現在6期目。市議会総務委員会委員長、健康福祉委員会委員長、議会運営委員会副委員長、市議会政策担当者会議メンバー、市監査委員等を歴任。みらい川崎市議団元団長。立憲民主党政令市政策協議会会長。
- ◆ボーイスカウト川崎第54団育成会長、宮前区少年野球連盟顧問、宮前区ゲートボール協会顧問。原水禁川崎市連事務局長。
- ◆尊敬する人物/ケネディー元アメリカ大統領 ◆好きな作家/司馬遼太郎、宮城谷昌光(時代の変革期の人間模様に興味あり)
- ◆好きな言葉/知行合一、嫌を避くる者は皆内足らざるなり ◆有馬在住 ◆第44代川崎市議会副議長